

皆様、今晚は。

本日は、このように盛大な歓迎会を開催して頂き、誠にありがとうございます。ご多忙の中、お越し頂きましたご列席の皆様にご心より御礼申し上げます。

先ず最初に、私はブラジル大使の任命を受け、天皇皇后両陛下に拝謁する機会がありましたが、その際、両陛下は3度に亘る御訪伯を通じ、日本人移住者の方々のことを深く心に留めておられるご様子で、両陛下から「日系社会の皆様に呉々も宜しくお伝えください」とのお言葉がありました。この場を借りてお伝えさせていただきます。

私はブラジルに勤務するのは初めてですが、外務省で30年余りの間に様々な節目でブラジルに関する仕事をする機会に恵まれました。日伯修好100周年に南米課長として、ブラジル移住100周年には中南米局長として携わりました。1995年の清子内親王殿下の御訪問、1997年の天皇皇后両陛下の御訪問に随行する光栄にも預かりました。これらはいずれも私にとって忘れがたい思い出となっています。本日御列席の方々の中には当時から存じ上げている方々もおられ、大変懐かしく思います。

そしてこの度、ブラジルが新しい時代に向けて歩みを進めようとしているときに、ブラジル大使として勤務できることを大変嬉しく思っています。今後、ご列席の皆様のご協力を得ながら、日伯関係を一層前進させて参りたいと思いますので、宜しくお願い致します。

ご列席の皆様

今年の最も大きな出来事の一つは、リオ・オリンピック・パラリンピックであったと思います。ブラジルは、様々な困難を乗り越えて素晴らしい大会を開催しました。改めて心よりお祝い申し上げます。私は東京でテレビを通じて観ていましたが、特に開会式での日本人移住者登場のシーンに深く感動しました。また、大会期間中、日系社会の皆様が日本人選手団に対し親身になって支援し応援して下さいと聞いており、感謝申し上げます。2020年の東京大会に向けて、サッカーや柔道を始めとするスポーツ交流を一層深めていければと考えております。

皆様ご存知の通り、2014年の安倍総理大臣の訪伯以降、日本政府は日系社会が日本とブラジルを繋ぐ架け橋として、この上なく貴重な存在であるとの認識

を一層深め、日系社会との連携を強化するための政策の拡充に努めております。この分野については、私も前任の梅田大使の努力を引継いで行きたいと考えております。

特に、2018年は日本人移住110周年です。昨年外交関係樹立120周年は、日系社会の皆様のご支援のお陰で成功裡に実施されました。皆様のご協力に感謝申し上げます。来たる110周年は、どのように祝賀するのが最も有意義なのか、これから中前総領事と一緒に日系社会の皆様とよく相談させていただき、準備して行きたいと考えております。

ブラジルは大きな潜在力を持つ日本にとって大変大切な国です。今後、皆様からいろいろ教えていただきながら、また、率直に意見交換させていただきながら、日伯関係の強化と日系社会の発展のために尽力して行きたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

最後に、御列席の皆様のご健勝と日系社会の一層の発展を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

(了)